



食べずに捨てられる「食品ロス」をなくすため フードドライブを開催します ～ “もったいない” を “ありがとう” へ ～

賞味期限切れなどの理由で、まだ食べられるのに捨てられるいわゆる「食品ロス」が、日本では年間 621 万 t 発生しています（平成 26 年度推計）。生駒市で平成 28 年に実施したごみ組成調査でも、燃えるごみのうち約 6% は手つかずの状態です。捨てられた食品という結果でした。

その一方で、失業や病気などの理由でその日に食べるもので困っている人がいたり、子どもの 7 人に 1 人が貧困状態にあると言われるなど、食品ロスの削減は大きな課題となっています。

この問題を解決するため、フードドライブやフードバンク活動が各地で広がりつつありますが、この度、生駒市と生駒市環境基本計画推進会議（ECO-net 生駒）が協力して生駒市で初めてのフードドライブを開催し、市民の皆さんから食品等の提供を受付けます。

■ 開催日時等

	市役所で受付け	イベント会場で受付け
実施日	平成 30 年 3 月 19 日（月）・20 日（火）	平成 30 年 3 月 21 日（水・祝）
時間	午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分	午後 1 時～4 時
場所	環境モデル都市推進課窓口 （市役所 2 階）	地域デビューガイダンス会場内 （たけまるホール）

■ 提供を求める食品

- ・ お米（白米・玄米・アルファ米）
- ・ パスタ、そうめんなどの乾麺
- ・ 缶詰、レトルト食品、カップ麺、のり、ふりかけ
- ・ 調味料（醤油、食用油、味噌など）
- ・ 菓子類、飲料（アルコールは除く）

■ 受付できないもの

- ・ 賞味期限まで 1 ヶ月を切っているもの
- ・ 賞味期限が明記されていないもの
- ・ 常温で保存できないもの
- ・ 開封されているもの

■ 集まった食品の提供先

「フードバンク奈良」を通じて、生駒市内の施設等を優先的に県内の子ども食堂や福祉施設等に提供

■ 生駒市の食品ロス削減の取組

(1) エコクッキング教室の開催

冷蔵庫の残り物など家庭にある食材を無駄なく使い切り、ごみを減らす料理方法を紹介する教室で、フードドライブで集まった食品の一部を活用します。

生駒市ごみ減量市民会議と生駒市健康づくり推進員が共催で、今年度は 2 月 23 日（金）に開催しました。平成 30 年度は 3 回開催予定です。

(2) 削減の啓発

リーフレットを作成し、生駒市ごみ減量市民会議と連携して、イベント参加者等を対象に啓発や、レジ袋有料化協定締結店舗と連携した啓発を展開しています。

《参考》

□ **フードドライブ**

家庭で余っている食品等を地域のイベントや職場などに持ち寄り、それを必要としている福祉施設や団体、フードバンク等に寄付する活動。

□ **フードバンク**

賞味期限前で品質に問題がないにもかかわらず、商品として流通できなくなった食品を、企業や個人から寄付を受け、食べ物に困っている人や福祉施設等に無償で配付する活動。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ
生駒市環境モデル都市推進課（課長補佐 大窪） ☎0743-74-1111(内線372)